

月刊 やちまなこ

2019. 8.15 発行

No.261

8月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

久々にまとまった雨が降り、湿原を流れる釧路川の水位も上がって、早朝から川下りをするカヌーで湖も含め賑わっている。湿原観光もピークを迎え、緑の草原に咲く花や広大な景観にカメラを向けている人の姿も多く見かける。

観光客の声に混ざり丘陵地の林からコエゾゼミの鳴き声も聞こえてくるが、昨年より気温差が大きいせいか、あまり聞かない。特に春から種類や数が増すトンボやチョウなども少ないようだ。木漏れ日を踏みながら歩く道沿いには、蕾をたくさんつけたイケマがあり、その中に一輪の小さい花が咲いていた。



塘路フィールドノート【7/15~8/14】

【野鳥】

最近、あまり姿を見せなくなった成鳥たちに代わり、元気な幼鳥たちの姿をよく見かけます。好奇心旺盛な幼鳥たちはこちらの存在を気にせず目の前をウロチョロすることもしばしば。今月号はそんなかわいい幼鳥たちの特集です。



アカゲラ (塘路湖畔)

センター前のハルニレを見上げると…。赤い頭の幼鳥が何度も枝をつついていました



コサメビタキ (塘路湖畔)

対岸付近を見ていたら、近くの樹上に飛来。しきりに左右をキョロキョロしていました



オオジュリン (塘路湖畔)

成鳥はほとんど見かけませんが、幼鳥はたまに見かけます。親を呼んでいるところ？



ハクセキレイ (塘路湖畔)

センター周辺をよく走り回っています。警戒心が薄く、気が付くと近くにいることも



(シマ) エナガ (塘路湖畔)

気が付いたら、20羽ほどの群れに囲まれていました。ほとんどが幼鳥だったようです



ハシブトガラ (塘路湖畔)

アザミの種子をついばんでいるところ。風に吹かれてゆらゆらと揺られていました

【植物】

7月の天候不順で夏の植物たちへの影響が懸念されましたが、全くの杞憂だったようです。下旬になって一気に暑い夏が到来したことで、一齐に、しかも多くの植物が例年より一週間ほど早く花を咲かせ始めました。



ツリガネニンジン (塘路湖畔)
例年より早く8月上旬に見頃を迎えました。この花が咲くと、秋の気配を感じ始めます



ナガボノシロワレモコウ (塘路湖畔)
他の花が早々に咲き始める中、この花はマイペース。蕾もまだまだ多く見られます



ハッカ (シラルトロ湖畔)
湖畔の水際でたくさん咲いています。花期が長く、例年9月の中旬頃まで見られます



クサレタマ (塘路湖畔)
国道脇の土手沿いで見られた群落。夏の花の中でも咲きっぷりの良さはピカ一でした



エゾミソハギ (シラルトロ湖畔)
水辺に咲くエゾミソハギの鮮やかなピンク色。湿原の夏らしい絵になる光景です



キツリフネ (サルボ展望台下)
ユニークな花の形はいつ見ても印象的。展望台登り口付近の日陰で多く見られます

【昆虫】

8月になってようやく湖畔を飛び回るチョウやトンボの姿が多く見られるようになってきました。とはいえ、全体的に個体数は少なめで、昨年と比べると賑わいは今一つ。種によってはほとんど見かけないものもあります。



ジャノメチョウ (塘路湖畔)
センターの外壁で交尾中のペア。他のチョウが少ない中、この種は比較的好く見かけます



ゴマシジミ (塘路湖畔)
止まっているのは幼虫が食草とするナガボノシロワレモコウ。もしかして産卵中？



セスジイトトンボ (塘路湖畔)
今年は例年に比べてよく見かけます。ササの葉の上で休んでいることが多いです

◎ 「土器が完成しました」

7月6日に開催した、標茶町博物館共催「縄文土器作り講座」で作った土器を14日に野焼きをしました。乾燥した土器を徐々に炎に当て、全体に熱くなってきたら炎の上がる火床に並べ、さらにその上に薪を積んで一気に焚き上げました。例年なら夏の陽射しの下で、脱水状態にならないよう注意して作業をしますが、今回は気温が低かったものの、輻射熱は半端じゃありません。あとは火力と空気に頼るのみで、しばらくして灰の中から現れた土器は、それぞれ趣のある作品に仕上がりました。



◎切り絵でアイヌ文様作りを体験

夏休み企画「ペーパー工房 切り絵でアイヌ文様作り」を開催しました。アイヌ文様には、渦巻きや棘など、複数の組み合わせにより独特な表現をしています。参加者に文様の見本を見せながら説明をしたあと、各自折り紙に文様を書き入れてハサミを使って切り抜いたあと、紙を徐々に広げて現れた文様に驚きと感動をしていたようです。紙の色を変えてお好みの文様作り、親子で楽しく体験した講座となりました。



8月10日(土)に予定していた自然ふれあい行事
「釧路湿原 自然と歴史を訪ねて」は悪天候のため、中止となりました。

9月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

バードカービング講座 第一回目

[日 時] 9月8日(日) 10時～15時

[定 員・参加料] 10名 5,500円(材料費)

※全5回(9/8、10/20、11/10、12/8、1/5)の講座に参加可能な方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

アイヌ民族が利用した植物 ～秋編～

[日 時] 9月8日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 7/15(3:55,19:00). 7/31(4:10,18:46). 8/14(4:25,18:26)

～編集後記～

■お盆の釧路湿原は、帰省や観光で訪れた人たちが賑わいました。気温も今月前半は連日30度を超える日が続き、「北海道は涼しいと思って来たけれど、こんなに暑いとは思わなかった」と言っていた人が多くいました。例年だとお盆を境に、朝晩徐々に気温が低くなりますが、ここ最近の北海道の寒暖差も極端すぎる感じがします。

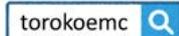
釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料